



受講のご案内

第2回

医療機関トップマネジメント研修コース 参加のお勧め

社団法人 全日本病院協会

会長 佐々英達

会員の皆様には既にご承知の通り、平成18年度には今後の医療提供体制、医療保険制度に大きな変化をもたらすと思われる医療制度改革関連法案が成立し、医療機関を取り巻く環境はより一層厳しいものとなっております。

また、社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々はこれまで以上に質向上、効率化を図り、公共性の高いサービス業として事業を継続して行く必要があります。そのためには、施設運営に際して医療実務（専門技術）と経営実務（管理技術）双方を兼ね備えたトップマネジャーの存在が不可欠ですが、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれていません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、研修用教材作成を行ってまいりましたが、昨年度これを利用した医療界では数少ないケースタディーによる研修会を開催致しました。

全7回の研修は、施設運営の際のモデルとなるような民間病院の実例をもとに、効率的、戦略的医業運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指しグループワークを中心に行われ、大変好評でありました。現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補が全国から参加し、普段聞けない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われました。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。更に検討すべきケースを追加作成しており、より内容の充実を図っておりますので、会員各病院の積極的な参加をお願い申し上げます。

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第2回(平成19年度)

医療機関 トップマネジメント 研修コース

- 受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方
- 開講期間 平成19年5月～11月
全7単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00
- 受講料金 全7単位 500,000円(宿泊費・食事代含む)
- 受講定員 40名
- 会場 虎ノ門パストラル 他
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-1
TEL.03-3432-7261(代)
- 申込締切 平成19年3月31日(土)



社団法人 全日本病院協会



社団法人 全日本病院協会

Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。

第1単位 平成19年 5月12日・13日

オリエンテーション、医療概論、経営概論

●講師

飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長
伊藤 一 小樽医科大学商学部 教授
李 濟民 小樽医科大学アントレプレナーシップ専攻科 専攻長

■概要

・医療概論

医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度（医療提供体制と医療保険制度）、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。

・経営概論

医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による競合相手の位置付けや、マーケティングの代表的手法を紹介する。

■演習

アイスブレイクとグループ討議の導入を兼ねて

- ・医療とは何か
- ・医療の特性・医療機関の特徴
- ・組織とは何か、病院とは何か
- ・医療の標準化
- ・情報化
- ・医療経営とは
- ・経営の基礎理論の適用

第2単位 6月2日・3日

医療における総合的質経営(TQM) — 質重視の経営 —

●講師

飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長
河野 宏和 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授

■概要

医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。

理念・方針、質管理原論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

■演習

- ・理念・方針の徹底
- ・なぜ質か
- ・改善の必要性
- ・トップの役割確認
- ・改善活動の組織化
- ・推進方法検討
- ・組織の活性化
- ・(品)質管理
- ・総合的質経営

第5単位 9月1日・2日

慢性期包括評価・医療連携

●講師

池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要

<慢性期包括評価>

包括評価の導入の背景、分類基準の開発、療養病床としての対応について系統的に解説する。

<医療連携>

病院における連携について、講師が行ってきた実態調査の結果を踏まえて現状とその課題を解説後、連携が絶対条件となる地域医療支援病院をケースとして取り上げ、演習、講評を行う。

■演習

<慢性期包括評価>

- ・包括評価導入に伴う区分構成の変化、モニター、人員配置、収支の変化
- ・病床転換や連携の新しいあり方

<医療連携>

- ・自院における連携を踏まえて、ケースにおける連携あり方を検討
- ・連携を進めるうえでのトップの役割

第6単位 10月6日・7日

DPC

●講師

長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要

診療報酬の支払い方法は医療の内容に大きな影響を与える。本単位では以下の内容について取り扱う。

- ・診療報酬支払い方式の概要
- ・包括払いが医療内容に与える影響
- ・医療標準化の方法(パス法、診療ガイドライン)
- ・コスト分析
- ・支払い方式に応じた医療サービスの位置づけの再検討

■演習

DPCへの対応

- ・病院情報システムの構築
- ・パス法などを用いた医療の標準化
- ・コスト分析

第3単位 7月7日・8日

安全管理・リスク管理

●講師

長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要

医療安全についての社会的関心は高く、病院経営上重要な課題となっている。本単位では以下について講義を行う。

- ・医療安全と質との関係
- ・医療安全に関する制度
- ・事例分析・評価・対策
- ・医療事故発生時の対応
- ・医療安全文化

■演習

- ・医療事故発生時の対応
- ・医療安全文化の醸成

第4単位 8月4日・5日

人事管理

●講師

池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要

人事管理の普遍的課題について解説した後、職員のほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。

そのうえで、人事管理システムを導入した病院のケースについて演習、講評を行う。

■演習

- ・自院における人事管理
- ・医療機関の各職種に対する望ましい人事制度
- ・人事制度の構築・導入のプロセス

第7単位 11月3日・4日

医療経営戦略と財務・会計管理

●講師

伊藤 一 小樽医科大学商学部 教授

■概要

医療機関において必要とされる事業戦略の構築について考える。将来進出すべき事業領域の選定、および広報活動の充実、さらに新たな資金調達の可能性などについて考える。

■演習

- ・財務・会計管理の重要性と透明な経営による資金調達の可能性
- ・医療機関の事業継承の可能性

■各単位ごとの時間割(予定)

	時間	項目
土	13:00~18:00	各テーマの講義 グループワーク
	18:00~19:00	夕食
	19:00~21:00	グループ発表・全体討論
日	9:00~12:00	ケースを利用したグループワーク
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:00	グループ発表・全体討論・まとめ

- 単位ごとにスケジュールが変更いたします。
- 全7単位修了者には「修了証」を授与いたします。